

星光PMC

M & A 国内外で業容拡大

星光PMCの業績実績・予想・目標

| | 2018年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 予想 | 24年度 目標 |
|---------------------------|--------|------|------|------|------------|------------|
| 売上高(億円) | 258 | 279 | 260 | 310 | 328 | 390 |
| 営業利益(億円) | 19 | 27 | 26 | 28 | 20 | 37 |
| 当期利益(億円) | 15 | 19 | 16 | 20 | 19 | ... |
| 売上高営業利益率(%) | 7.6 | 10.0 | 10.0 | 9.2 | 6.2 | 9.6 |
| 自己資本当期利益率 (ROE、%) | 6.6 | 7.9 | 6.4 | 7.4 | 6.3 | 8.4 |
| EBITDA (営業利益+減価償却費、億円) | 29 | 38 | 38 | 41 | 35 | 57 |
| 海外売上高比率(%) | 18 | 24 | 28 | 33 | 35 | 40 |
| D/Eレシオ (負債資本比率、倍) | 0.03 | 0.06 | 0.05 | 0.05 | 0.20 | 0.17 |

製紙用薬品の紙力増強剤、インクのにじみなどを抑えるサイズ剤などが主力製品。洋紙の需要が減る中で、底堅い段ボール・家庭紙分野のマシン更新期などを取り込む。これら「祖業」は荒川化学工業、ハリマ化成などが競合メーカーだが、専

するが、資金の有効活用がテーマといえる。従来は売上高営業利益率を財務指標としてきたが、2025年度以降の次期中期経営計画ではROE(自己資本当期利益率)、EBITDA(営業利益+減価償却費)などを盛り込むことを検討している。現在参考値とするROEは21年度に7・4%で、24年度には8・4%を目標とする。設備投資に伴って減価償却が増える中、中長期的な企業価値を表すEBITDAは21年度に約41億5000万円だったが、24年度の目標は約57億5000万円だ。

リーズナブルに資金借り稼ぐ

業の星光PMCは「限られた人数ながら直営業体制や高い生産効率」が特徴。「(小国正祥理事経営企画本部長)と収益性を自負する。30年度までの戦略投資で300億円の枠を設けた。セルロースナノファイバー(CNF)など新素材とともに注目されるのが海外展開。海外売上比率40%超を目標に掲げ、22年9月にベトナム工場を稼働。これまでに化成品のKJケミカルズ(東京都中央区)、電子部品用粘着剤の新綜工業股份有限公司(台湾桃園市)を完全子会社化してきた。

足元は原燃料の高騰分を適切に価格転嫁できると課題だ。

星光PMCは「今後はリーズナブルに資金を借りて稼ぐ必要がある」(小国理事)との認識を示す。QUICK企業価値研究所調査部の伊藤健悟シニアアナリストは「無借金経営が良いとされる時代は終わった。思い切った投資こそが成長の力を握る」と話している。

財務

分析

92

製紙用薬品の星光PMCは洋紙需要が先細りする中、塗料のベイスになる原料や粘着剤メーカーをM&A(合併・買収)し、業容を拡大している。自己資本比率が70%超と財務健全性に優れ、今後は成長分野に力か投資

併・買収)し、業容を拡大している。自己資本比率が70%超と財務健全性に優れ、今後は成長分野に力か投資